スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

千葉県 長生郡睦沢町

自 治 体 名 ： 千葉県長生郡睦沢町
担 当 課 名 ： 教育課
電 話 番 号 ： 0475-44-2509

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	35.59 ㎢
人口	6,549 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	146 人
部活動数	6 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	令和5年6月 睦沢町地域クラブ活動推進協議会を設立
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定検討中 （基本方針については令和6年度策定済み）

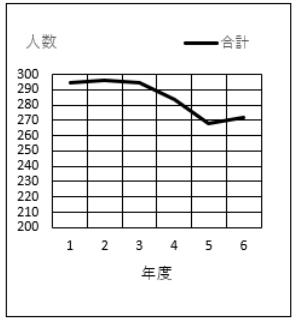
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

睦沢町は人口が7千人に満たない小規模な町であり、約150人程の生徒が在籍している睦沢中学校の１校のみである。運動部活動は６部活が活動しているが、どの部活も少子化の影響からメンバーが少なく、特に団体競技であるサッカー部は単独ではチームも作れない状況である。人口が少なく、少子化が進行している中で部活のメンバーを集めることは困難であるため、広域連携を行っていくことが求められる。

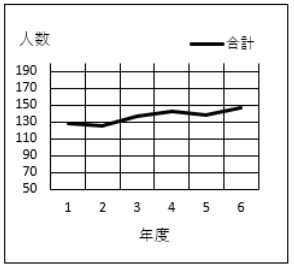
また、指導者の確保の面では本町には駅がないために遠方から指導者を呼ぶことが難しい。

必然的に限られた範囲で指導者を募ることになるので条件に合う指導者を見つけるのが困難である。また、未だに保護者の中で部活動は費用がかからないという認識が根強いために丁寧に説明を行い、地域クラブ活動に関しては受益者負担が原則であることを浸透させていくことが重要である。そのためには、学校に代わる休日のスポーツ活動の受け皿の構築が必要であり、その活動に関して保護者が支払可能な費用の調査などが必要である。

種別	学年	R1	R2	R3	R4	R5	R6
睦沢小学校	1年生	60	44	49	42	36	38
	2年生	43	61	45	48	40	38
	3年生	45	45	60	46	46	42
	4年生	52	48	43	57	45	49
	5年生	49	50	48	45	57	47
	6年生	46	48	50	46	44	58
	合計	295	296	295	284	268	272



種別	学年	R1	R2	R3	R4	R5	R6
睦沢中学校	1年生	44	44	47	50	42	47
	2年生	39	44	45	47	50	47
	3年生	45	37	45	46	46	52
	合計	128	125	137	143	138	146

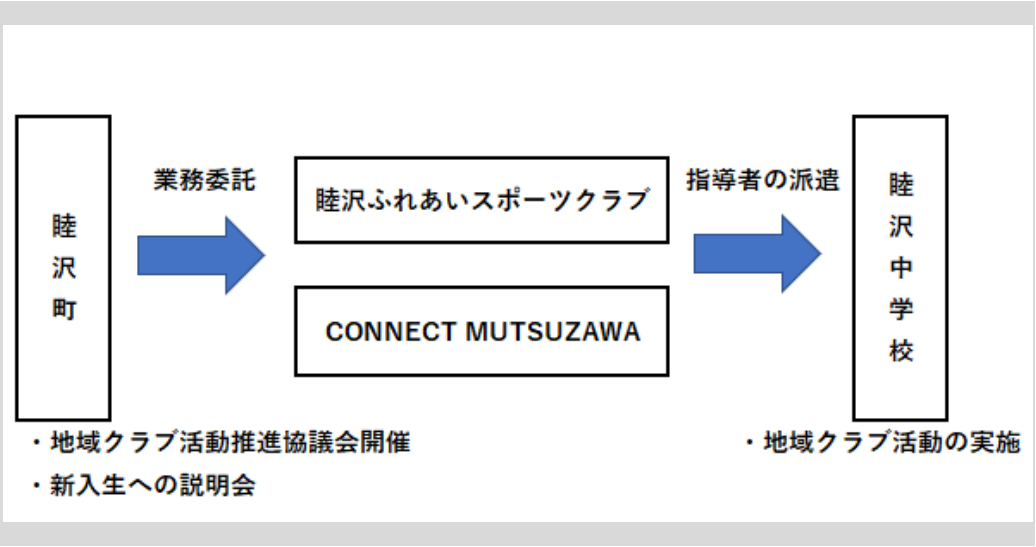


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・学校と運営団体との調整
・指導者からの相談対応
・運営協議会の事務局
・地域クラブ活動に関する周知

◉首長部局

・委託契約の書類作成

年間の事業スケジュール

令和6年4月	・地域クラブと再委託契約締結 ・卓球部とバレーボール部の地域クラブ活動を開始 ・男子バレーボールクラブチーム仮運用開始
令和6年6月	・第1回地域クラブ活動推進協議会を開催
令和6年7月	・男子バレーボールクラブチーム本運用（平日の活動開始）
令和6年9月	・児童・保護者及び教職員にアンケートを実施
令和6年12月	・基本方針及び保護者向けのQ&Aを作成
令和７年１月	・新入生説明会で地域移行について説明、チラシの配布 ・第2回地域クラブ活動推進協議会を開催
令和7年2月	・事業終了

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1 校	実施した地域クラブ総数	2 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2 クラブ（2 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		
全体の指導者数	6 人	全体の運営スタッフ数	8 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
睦沢ふれあいスポーツクラブ	総合型地域スポーツクラブ運営型	卓球・バレーボール（女子）	月 4回／週 1 回	土日のどちらか3時間	1年 12人 2年 11人 3年 16人	4月～2月	睦沢中学校	4 人	6 人（内、兼務2人）	-	部活動
CONNECT MUTSUZAWA	民間	バレーボール（男子）	月 4回／週 1 回 休日 月 12 回／週 3 回 平日	土日のどちらか1日 平日の3日	1年 3人 2年 1人 3年 10人	4月～2月	睦沢中学校	4 人	4 人（内、兼務2人）	年会費15,800 円（など）	地域クラブ

2.実証内容と成果

スポーツ庁

主な取組例

●活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球、バレーボール
運営団体名	睦沢ふれあいスポーツクラブ ＣＯＮＮＥＣＴＭＵＴＳＵＺＡＷＡ
期間と日数	卓球・バレーボール(女子)： 月 4回／週 1 回 バレーボール(男子)： 月 4回／週 1 回(休日) 月 12 回／週 3 回(平日)
指導者の主な属性	スポーツ指導員・外部指導者
活動場所	睦沢中学校
主な移動手段	自転車・徒歩
１人あたりの参加会費等（年額）	バレーボール(男子)：15,800円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

統括責任者

役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う

●主任指導者　2名

役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う

●運営補助者

役割：活動において、主任指導者の補助として、指導を行う

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

以前より実施していた卓球・バレーボールの地域クラブ活動に関して、継続して実施した。「睦沢ふれあいスポーツクラブ」等と業務委託契約を締結して、毎週土曜日、また男子バレーボールクラブチームについては、平日の3日間指導者を睦沢中学校に派遣する形式で事業を実施した。

町スポーツ関連団体との連携会議を実施することで各方面からの人材確保や発掘などに努めた。

取組の成果

卓球・バレーボール(女子)部及び男子バレーボールクラブチームに関しては、来年度以降も継続して実施できる環境の構築ができた。

特に、男子バレーボールについては、クラブチームが設立され、広域的な活動がなされことが大きな成果であると考える。このことにより、休日に加えて平日の活動も移行したことで完全移行が実現できた。

また、町スポーツ関連団体との連携会議を地域クラブ推進協議会の会議と併せて開催することで、学校部活動や地域クラブの現状、人材確保の必要性について情報共有がなされた。このことで、新たな地域クラブの設立や指導者の確保にも繋がると考える。

今後の課題と対応方針

地域クラブに移行することで発生する受益者負担額や送迎問題については、まだ抵抗を持つ保護者がいるため、継続して周知・説明を行っていく必要がある。また、男子バレーボールクラブチームのような広域連携のモデルをその他の種目でも確立し、生徒のスポーツ活動の機会を提供できるよう取り組んでいく必要があると考える。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

本町における休日部活動の地域移行に向けた取組みについては、令和５年６月に睦沢町地域クラブ活動推進協議会を設立し、令和８年度からの移行について協議を進めている。

年２回の協議会の開催では、活動実績や今後の取り組み方、問題点などを協議し、その後、現時点での基本方針や保護者向けQ＆Aの作成を行った。

また、９月には、小学校の児童・保護者向けのアンケートを実施し、休日の部活動の移行に関する意識調査を図ることができ、移行に向けた生の声を聴くことができた。

卓球部・女子バレーボール部の休日の活動については、継続しており、定着してきている。

また、今年度は、男子バレーボールクラブチームが発足され、総体終了後には、男子バレーボール部の発展的解消、クラブチーム化が実現し、休日のみならず平日の活動も実施した。

●成果の評価

本年度の実施計画のとおり、一年間を通して活動ができたと考えている。

特に、男子バレーボールについては、クラブチームが設立され、広域的な活動がなされことが大きな成果であると考える。このことにより、休日に加えて平日の活動も移行したことで完全移行が実現できた。

また、地域クラブ推進協議会の会議と併せて町スポーツ関連団体との連携会議を開催することで、学校部活動や地域クラブの現状、人材確保の必要性について情報共有がなされた。このことで、新たな地域クラブの設立や指導者の確保にも繋がると考える。

●今後に向けて

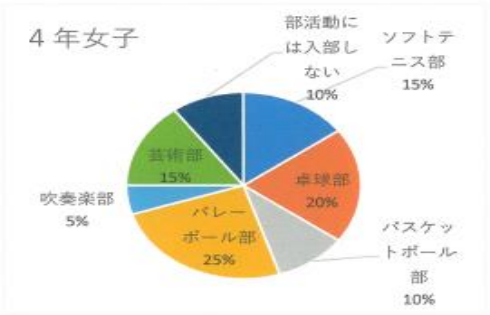
今後に向けては、女子バレーボール部についても男子バレーボールクラブチーム同様に、地域クラブの「ＣＯＮＮＥＣＴＭＵＴＳＵＺＡＷＡ」を利用する形で平日の移行について仮運用を実施し、完全移行を目指す。また、総合型地域スポーツクラブの「睦沢ふれあいスポーツクラブ」を活用し、そこでの教室、またその施設の利用団体で生徒の受け入れが可能な団体について調査し、所属している部活と同じもの、また休日の学校部活動の変わりとなるような種目について機会の場を提供する。人材確保についても町スポーツ関連団体との連携を密にし、新たな地域クラブの設立について支援する。

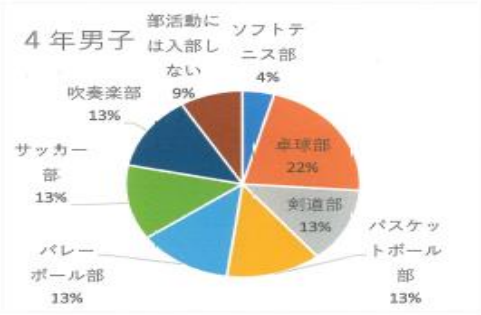
2.実証内容と成果②

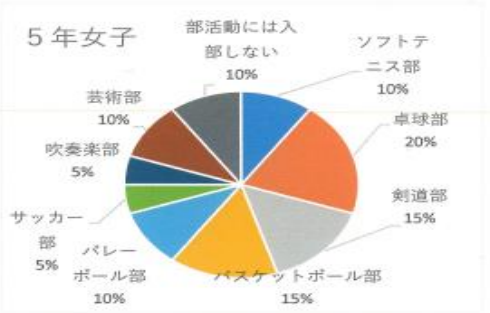
スポーツ庁

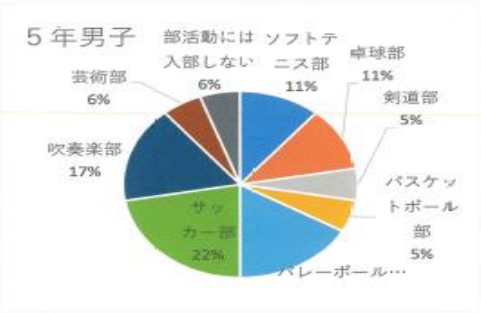
今後の地域移行に関する取り組みの参考とするため小学校の児童・保護者へアンケートを実施

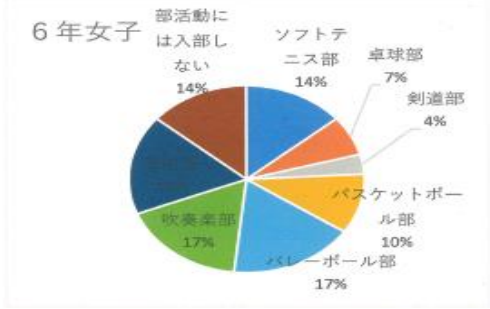
●アンケート結果　4年生：男子20名中13名回答／女子26名中17名回答
5年生：男子21名中12名回答／女子25名中16名回答
6年生：男子25名中18名回答／女子31名中24名回答

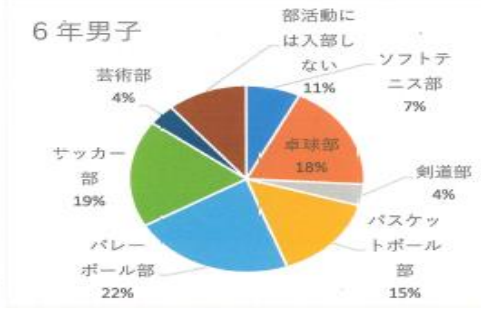












問1
中学校に入学後、現在ある部活の中で入部したい(させたい)部活動はありますか。

●回答に対する分析

全体で見てみるとバレー部が17%と最も多く、次いで卓球部の16%、サッカー部、バスケ部、吹奏楽部、テニス部、剣道部、芸術部の順となっている。

男女ともに運動系に入部したいという回答が多い中、比較的部員数の少ないサッカー部に入部したいという声が男子児童全般に高いことが分かる。

また、文科芸術系である吹奏楽部、芸術部について見てみると女子児童に限らず、男女児童ともに10%近い数値となっており、特に4・5年生男子児童で非常に多く、5年生男子児童では17%を占めている。

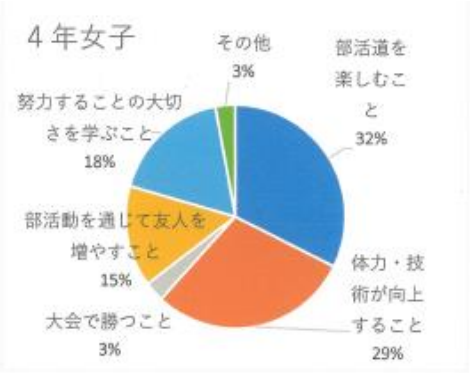
そんな中で、部活に入部しないと回答した児童の割合も、全学年平均で10%に上り、6年生に至っては12.5%となっています。個別の部活動と比較しても、大きな差はないことや上回っていることが分かる。

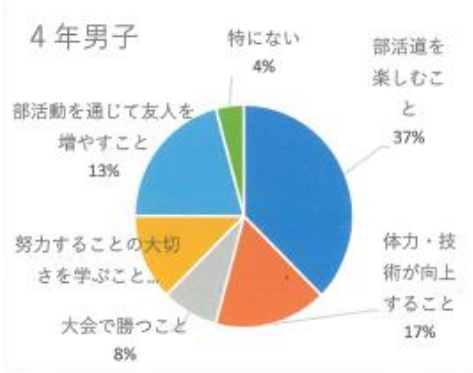
また、本アンケートへの回答率は、全体の67%で、残りの33%が未回答となっている。このことから推測しても、部活に入部しないと回答する割合は、さらに増えることが予想される。

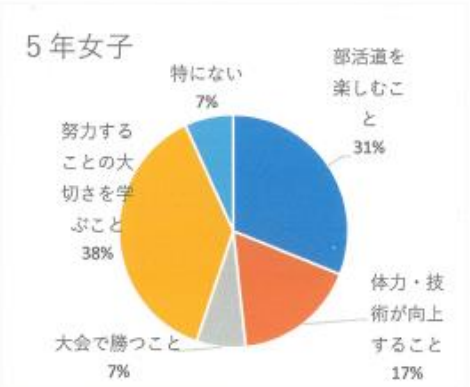
2.実証内容と成果②

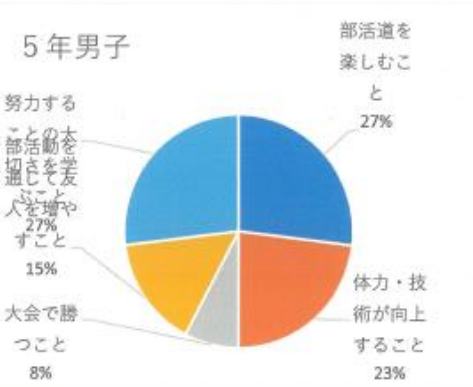
スポーツ庁

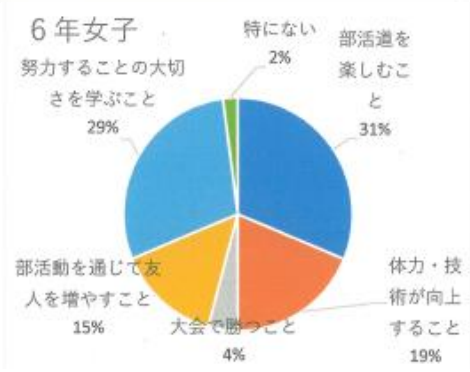
今後の地域移行に関する取り組みの参考とするため小学校の児童・保護者へアンケートを実施

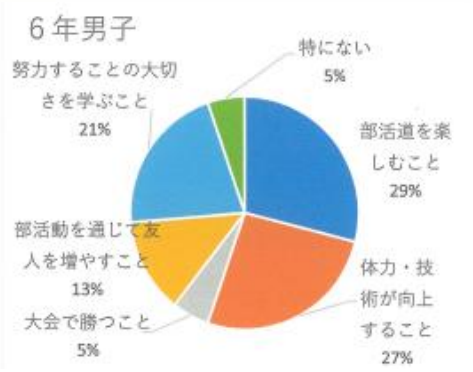












問2
中学校の部活動について、特に期待することを教えてください。

●回答に対する分析

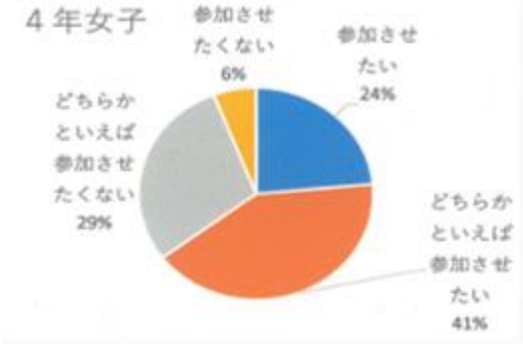
全学年をとおして、「部活動を楽しむこと」が最も多く3割を超える結果となった。次いで、「体力・技術の向上」、「努力することの大切さ」が多いことが分かる。それに次ぐのが、「部活動を通して友人を増やす」となっているが、この回答については、都市部では高い傾向にありますが、本町においては小中学校が１校ということもあり、友人関係が既に構築されていることの現れではないかと考える。

そんな中で、「大会に勝つ」との回答については、全体で見ても6%と少なく、大会で優勝を目指すというよりは、まず部活動を「楽しむこと」、「親しむこと」を期待する、又その活動をとおして「体力技術面の向上を図りたい」や「努力することの大切さを学びたい」といったような体力や精神面の向上、成長意欲に繋がることを期待する児童・保護者が多いことが分かる。

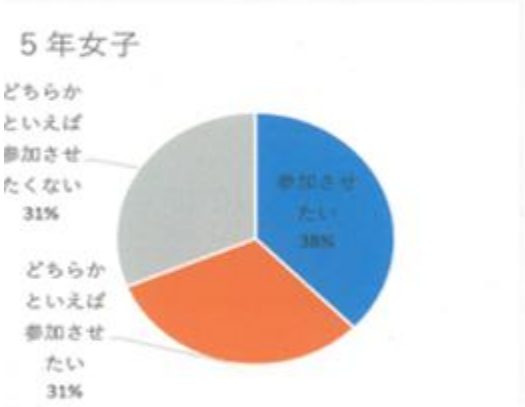
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

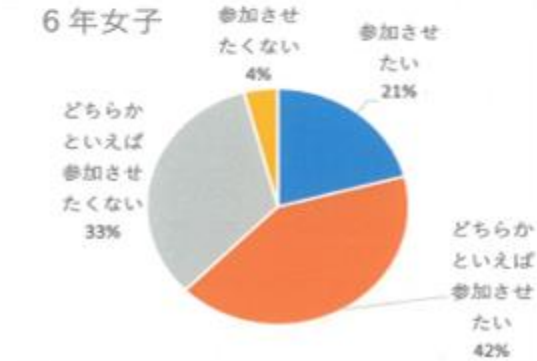
今後の地域移行に関する取り組みの参考とするため小学校の児童・保護者へアンケートを実施

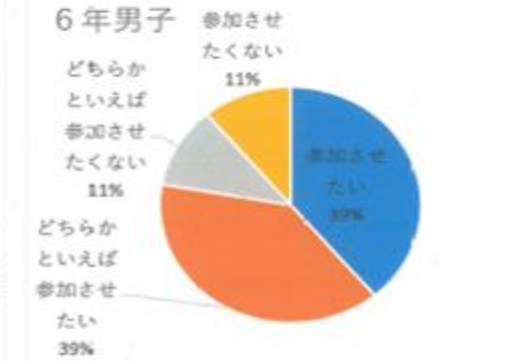












問3
休日の活動が学校部活動ではなく、地域にあるクラブチーム等で行うこととなった場合、その活動に参加したい(させたい)と思いますか。

●回答に対する分析

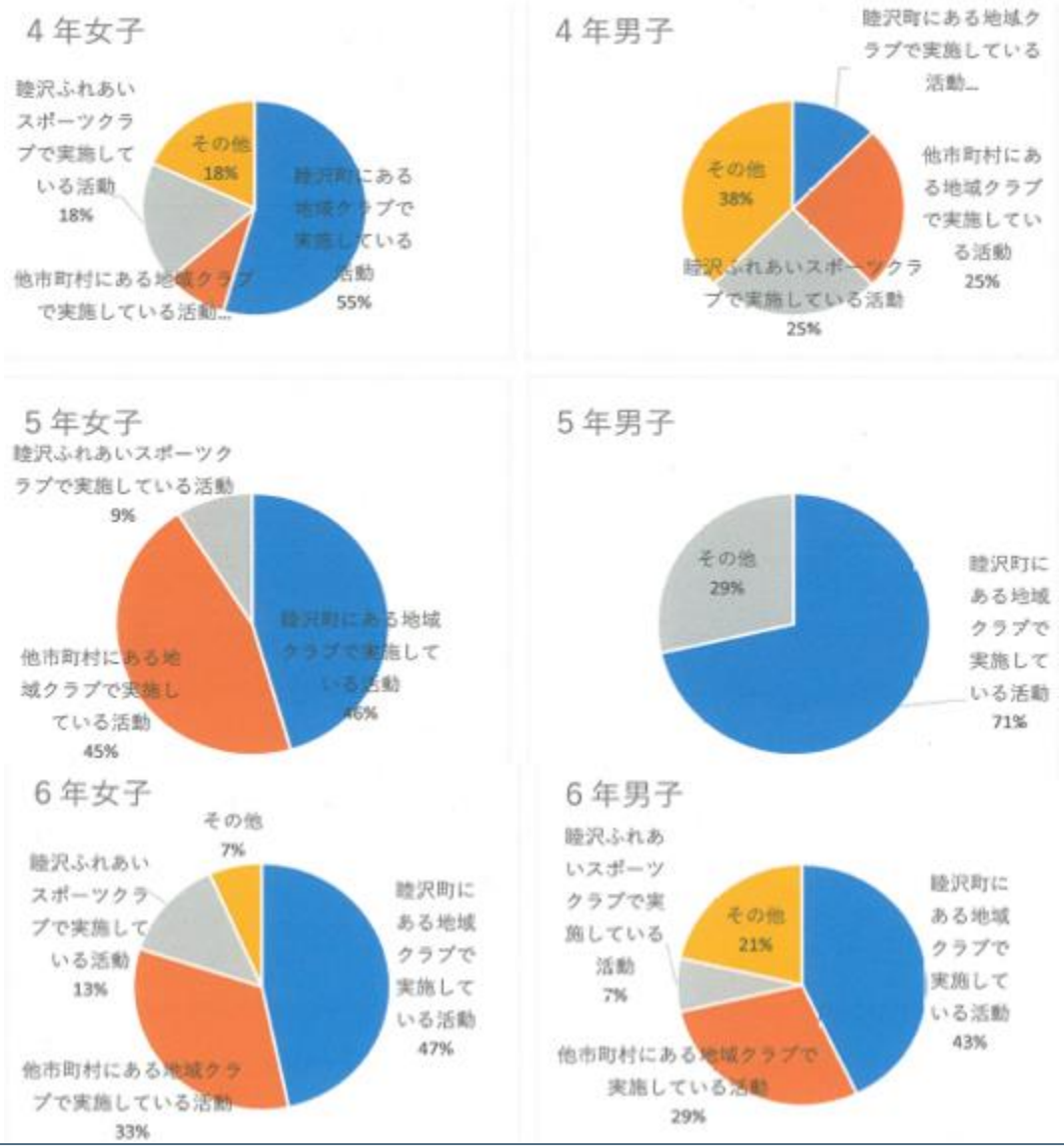
参加させたい等の意見が65%、参加させたくない等の意見が35%を占める結果となった。

設問１での回答で、部活動に入部したい(させたい)と回答した割合が9割近くに上ったのに対し、休日の活動に参加したいとの意見は6割強に留まった。この結果から学校での部活動には参加するが、学校部活動の延長ではなく、地域クラブチームでの休日の活動となると若干参加を思い悩むという結果となったことが分かる。これは、設問2であった部活動に期待する楽しみたい、親しみたいといった考えに対し、クラブチームの印象が、大会での優勝、個人成績重視等といったイメージがまだ強く、そのあたりも影響しているよう思料される。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

今後の地域移行に関する取り組みの参考とするため小学校の児童・保護者へアンケートを実施



問4
問3で「参加したい」「どちらかといえば参加したい」を選んだ方にお聞きします。それは、どのような活動ですか。

●回答に対する分析

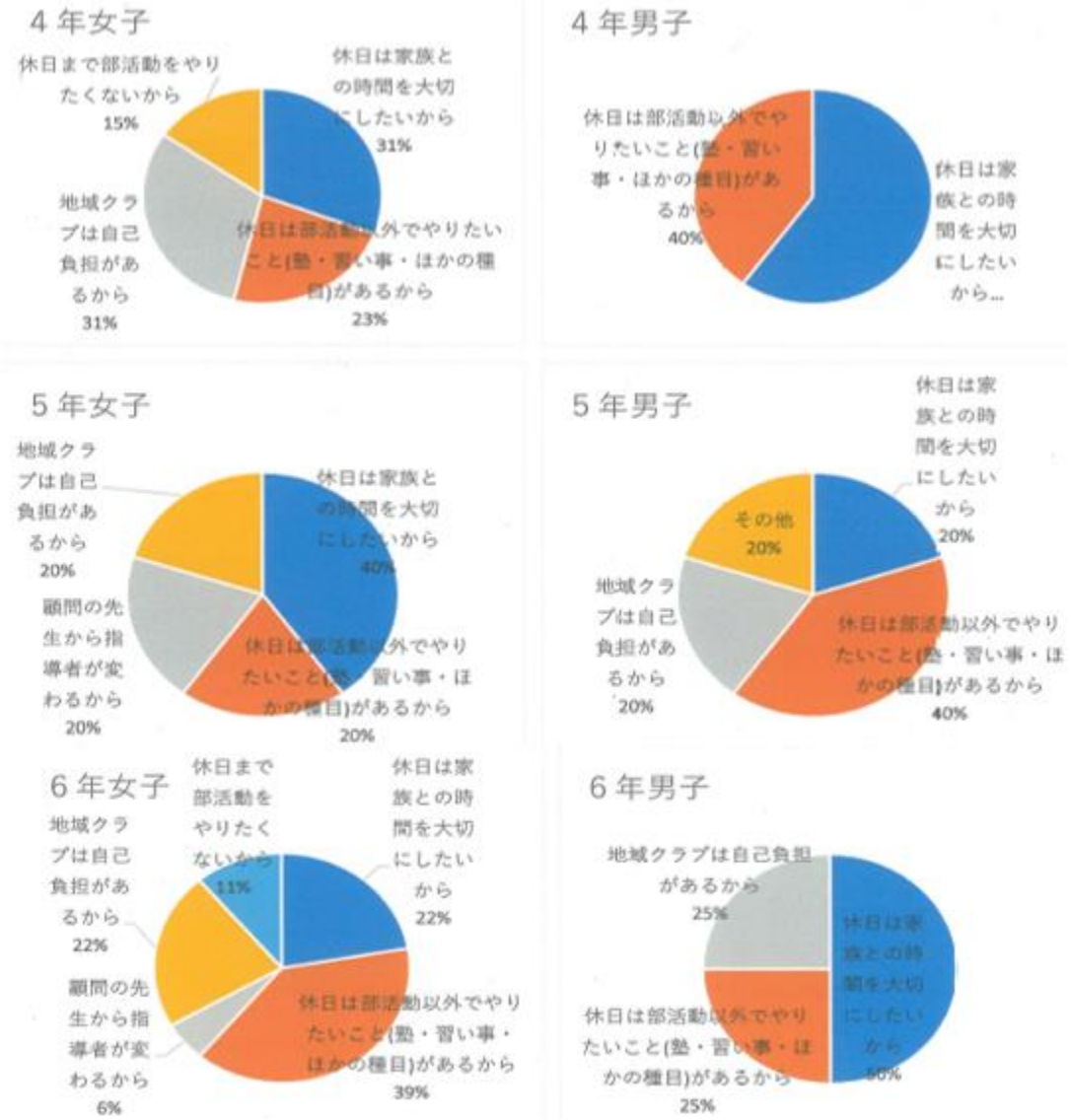
睦沢町にある地域クラブ活動と回答する方が多い中、他市町村にある地域クラブと回答する方も同様に多いとの結果となりました。後者の回答には、送迎に関する不安の声も挙げられていたことから、地域クラブ活動は塾や習い事のような位置づけであり、その活動を希望する際には、同じように保護者の協力が必要であると考えられます。

また、回答した児童・保護者の中には、地域クラブチームに加入し、現状の休日の活動に満足しており、既に休日の地域移行となっているケースもあると思料されます。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

今後の地域移行に関する取り組みの参考とするため小学校の児童・保護者へアンケートを実施



問5
問3で「参加したくない」「どちらかといえば参加したくない」を選んだ方にお聞きします。それは、どのような活動ですか。

●回答に対する分析

「家族との時間を大切にしたい」と「部活動以外でやりたいことがある」が併せて7割近い回答となった。

これを見ると、希望する種目や地域クラブチームが町内に無いことで、休日の活動を諦めるというよりは、プライベートな時間の確保や塾・習い事のような各々で決めた活動があることにより、参加をしないという意見が大半であることが分かる。

休日の活動に参加しない（させたくない）と考える児童・保護者については、与えられた活動の機会や場の提供を求めるという受けて側というよりは、各々が主体的に判断し、必要があれば、最適な活動の場を自らの考えと行動で選び、決定しているもの、又決定したいという考えが強いのではないかと考えられる。

その一方で、地域クラブ活動に移行することにより、発生する自己負担を理由とする回答も2割強占めていることから設問3の回答にも経済的理由が少なからず影響していることも考えられ、今後対策を講じる必要もあると思料される。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

広報資料

Chiba Mutsuzawa
CONNECT
インスタ見てね。フォローしてね。
©CONNECT_MUTSUZAWA
睦沢町地域クラブ活動推進団体

U-15 男子バレーボールクラブチーム
CONNECT MUTSUZAWA（コネクトムツザワ）

2024春始動！メンバー大募集！

練習日：平日 18：00 ～ 20：00　睦沢小 or 睦沢中
土日 12：00 ～ 20：00　睦沢中
（※平日は火・水・木、土日は上記時間内のいずれか３時間程度を予定）

入会費：3,000円
会　費：1,000円/月
保　険：800円/年（スポーツ保険）
登録費：500円/年（JVA-MRS登録料）
練習着：1,500円（半袖Tシャツ）

2024年秋の新人戦から中体連、県バレー協会及びその他の大会に参加予定です。

■ 初心者も経験者も大歓迎！睦沢中学校バレー部コーチが丁寧に指導します。
■ 中学校でどの部活に入ろうか迷ってませんか？ CONNECTでバレーやろう！
■ 小学生の習い事はCONNECT。一緒にバレーやろう！

下記日程で体験会を開催いたします。
2/23（金・祝）9 ～ 12時　睦沢小学校体育館

対象：新中学２年生（現中学１年生）
新中学１年生（現小学６年生）
新小学６年生（現小学５年生）

申し込みはこちらまで
連絡先：今村（イマムラ）
メール：aivb138@gmail.com

■ 予定が合わない場合はご連絡ください。個別に対応します！
インスタのDMでも可

新入生説明会で配布

睦沢町教育委員会

休日の中学校の部での活動を地域へ移行します

令和４年１２月にスポーツ庁・文化庁の「学校部活動及び新たな地域クラブの在り方等に関する総合的なガイドライン」により、全国的に休日の学校部活動は地域へ移行していく方針となりました。
睦沢町でも千葉県地域クラブ活動体制整備事業を活用し、卓球部とバレーボール部で地域移行に向けた実証事業を行っており、男子バレーボールに関しては部活動の発展的解消によるクラブチーム化が実現しています。
このように、本町でも令和８年度からの休日部活動の完全地域移行を目指し、取り組みを行っているところです。

学校部活動の現状
○少子化に伴い、単一学校での部員の確保・部活動の維持が困難
○教員の働き方改革が必要

社会の状況
○多様なニーズに対応し、生涯にわたってスポーツや文化・芸術活動に触れる機会を増やす

持続可能な部活動

睦沢町の休日の学校部活動と地域クラブ活動の考え方は・・・
休日の活動については、平日の学校部活動の種目にとらわれることなく、あくまで子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に触れ、楽しむ・親しむことを目的とした活動場所として考えます。
平日は、今までどおり学校部活動で、令和８年度からは、休日の活動も希望する生徒は、種目を問わず地域クラブ等に加入し活動します。その加入は任意となり、受益者負担が発生します。
休日の部活動の地域移行については、睦沢町に希望する種目の地域クラブがない場合であっても、平日の学校部活動を地域（町内）が全て引き受けることは難しいので、令和８年度以降は、子どもたちの休日の活動の機会となるよう睦沢ふれあいスポーツクラブや地域クラブで行う活動を休日の子どもたちのスポーツ活動及び文化・芸術活動の場とします。
また、近隣市町村で加入が可能な地域クラブ等がある場合も情報提供を行います。
このように、中学校の部活動は、“平日は今までどおり学校での部活動、そして休日は部活動ではなく、各々が選択した地域クラブ活動”に変わります。

問い合わせ　睦沢町教育委員会教育課学校教育班（℡44－2509）

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）









2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和５年		令和６年		令和７年	令和８年
協議会設置、検討開始	受け皿団体や指導者の選定	地域クラブ活動実施基本方針	生徒、保護者への説明	地域クラブ活動の拡大	休日学校部活動の移行 地域クラブ活動の開始
令和5年6月 睦沢町地域クラブ活動推進協議会を設立 総会開催 令和5年12月 第2回睦沢町地域クラブ活動推進協議会開催 令和6年2月 第3回睦沢町地域クラブ活動推進協議会開催	・卓球部・バレー部総合型地域スポーツクラブ「睦沢ふれあいスポーツクラブ」と委託契約締結 ・男子バレーのクラブチーム化 指導者として「ＣＯＮＮＥＣＴＭＵＴＳＵＺＡＷＡ」を選定	・地域クラブと再委託契約締結 ・卓球部とバレーボール部の地域クラブ活動開始 ・男子バレーボールクラブチーム仮運用開始 令和6年6月 ・第1回地域クラブ活動推進協議会を開催 令和6年6月 ・男子バレーボールクラブチーム本運用（平日の活動開始） 令和6年9月 ・児童・保護者及び教職員にアンケートを実施 ・基本方針及び保護者向けのQ＆Aを作成 令和7年1月 ・新入生説明会で地域移行について説明、チラシの配布 ・第2回地域クラブ活動推進協議会を開催	・推進協議会の開催 ・女子バレーボール部の平日部活動を地域クラブに移行（仮運用） ・部活動の種目に限らない睦沢ふれあいスポーツクラブの活動を活用した地域移行を検討 ・新たな地域クラブ設立に対しての協力 ・受け入れが可能な地域クラブの調査及び受け入れに関する協議	

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

